

すくすく

# たけのこキッズ

## 第19号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：0724-21-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成17年11月15日発行

## 溶連菌感染増加

インフルエンザワクチン接種などで込み合う時間帯が増えてきました。そんな中、一般の診察時間も少しずつ風邪が増えてきています。また、学校や幼稚園などをお休みしなければならない病気の中では特に溶連菌感染症、水ぼうそうあたりが目につきます。溶連菌感染症についてはこの「たけのこキッズ第7号」で取り上げているので、ご参照ください。

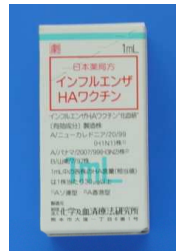
## インフルエンザワクチンQ&A

**Q：今年の流行にあったワクチンですか。**

**A：**毎年世界中の衛生研究所で数多くのインフルエンザウイルスが捕まえられています。その流行の中で代表的な性質を持っておりワクチンを製造するのに適したウイルスがどれかということとを毎年WHO（世界保健機構）が推奨します。各国はそれに国内の状況を加味して、実際のワクチン製造をどうするかを決定しています。今シーズンになって捕まえられたウイルスの性質とワクチン製造のもとにしたウイルスの性質は既に少し異なりますが、今のところワクチンの効果としては問題ない範囲です。今後ウイルスに大きな変化がない限り、「効く」と考えてよいと思います。

**Q：病院により接種価格が異なるのはなぜでしょう。**

**A：**接種価格は自費診療で、医療機関独自で決めるものです。ワクチン薬剤価格、保険診療での診察料などを元に忠実に計算しているところと、少しでも安くして打ちやすくしているところがあります。「安いところはワクチンを薄めている」というデマみたいな話を聞いたことがあります。そんなことは決してありません。



**Q：接種すれば風邪をひかないで済みますか。**

**A：**インフルエンザ以外には全く効果がありません。また、インフルエンザに対しても全くかからなくなるのではなく、かかりにくくする、またかかっても軽症で済むという効果があるだけです。残念ながらひかないで済むというものではありません。

**Q：先日から鼻水が少し続いています。接種できますか。**

**A：**体調の良いときに打つのが原則です。ただし、なかなか100点満点の体調というのはこの時期には困難です。少々のかぜ、下痢ならば接種は差し支えありません。

**Q：幼稚園児なので2回接種をしますが、間隔はどれくらい開けるのがいいでしょうか。**

**A：**ワクチンに添付されている「使用説明書」には1～4週間の間隔で2回接種することになっています。ただ、余り間隔が短いと免疫が上がりにくいとも言われています。そこで、だいたい「3～4週間」をお勧めしてい

るわけですが、若干延びても全く問題ありません。

**Q：1歳になり麻疹のワクチンは終了しています。風疹とインフルエンザのどちらを優先すればいいでしょうか。**

**A：**来年の3月末までに風疹の予防接種をしておく必要がありますが、この時期ですので先にインフルエンザを済ませることにはどうでしょうか。インフルエンザ2回目から1週間以上あければ、風疹ワクチンの接種ができます。そうすれば12月中には全部終わります。

**Q：4ヶ月の赤ちゃんにも接種できますか。**

**A：**それくらいの赤ちゃんの場合はインフルエンザにかかってもそんなにしんどくなることは少ないです。むしろ、百日咳などにかかった方が辛い思いをします。そういう理由から3種混合ワクチンを優先していただき、もし余裕があれば相談したいと思います。



**Q：授乳中の母親の接種は可能ですか。**

**A：**全く問題ありません。それだけでなく、妊娠中に罹患すると大変しんどいということから、アメリカなどでは妊娠中期以降であればワクチン接種を行っています。

## 成人受診者への対応

当院は「こどもクリニック」ですので、原則として中学3年生以下の小児患者さんの診療を行っています。ただし、近隣の年輩の方や小児患者さんの家族の方などの風邪などの急性疾患についても同時に対応しています。これは、その家族の方に対する診察が小児患者さんの診断の参考になる場合があること、保護者の方が病気の子供を連れてまた別の診療所にかかることは親子共に負担になることなどの理由です。糖尿病や高血圧などの慢性疾患については、例えば近隣のゆかわクリニックさんなどの内科診療所への受診をお願いします。

## 闇に埋もれる服

夕方暗くなるのが一日一日と早くなってきました。暗くなると子供が歩道を歩いていても、車からは非常に見えにくくなります。その上、冬服というのは夏に比べて黒っぽい色が多く闇にとけ込みやすいと言えます。そこで、できるだけワンポイントでも「白」を使って目立つようにしてはどうでしょうか。ソックスでもいいですし、ブラウスでもいいでしょう。また、これからはマフラーでもいいかもしれません。子供を交通事故から守る簡単な工夫です。

